

兵庫県高校生英語ディベートコンテスト（46回生）

本年度も10月から2月の国際探求の授業を用いて英語ディベートの授業を行い、代表選手6名が兵庫県高校生英語ディベート大会に参加した。今年度の論題は「積極的安楽死の是非」で、テーマの背景知識を理解するところから準備を始めた。放課後も遅くまで残ったり、休みの日に他校と練習試合を行ったりと、英語で難しい論題について議論できるよう準備した。

本校は昨年度3位の実績から、予選リーグにはシードされる。前日の抽選の結果、本校は初戦で武庫川女子大学附属高校と2戦目で姫路飾西高校と対戦することが決まった。初戦は肯定側に立ったが、硬さが目立ち、自分たちの思うような試合運びができずに1-2で敗退した。次の試合では否定側として、よく相手の立論を攻撃したが一歩及ばず、この試合も1-2で惜敗した。結果、予選リーグ0勝2敗で予選リーグ敗退が決まった。午後からはフレンドリーマッチに参加し、昨年度3位の学校を破って勝利することができた。あと一歩のところまで決勝トーナメント進出は果たせなかったが、これまでの努力が報われた瞬間であった。

（大会要項より抜粋）

第12回 兵庫県高校生英語ディベートコンテスト *The 12th Hyogo Prefecture Senior High School English Debate Contest*

- 趣 旨： 英語ディベートは、英語を「聞く」「話す」「読む」「書く」という技能に加え、「論理的思考力」も必要とする、総合的な英語コミュニケーション能力向上のために有効な学習手段である。本英語部会は、この英語ディベートを本県の英語教育発展のための一つの有効な手段ととらえ、「兵庫県高校生英語ディベートコンテスト」を開催する。本コンテストが、生徒の英語力向上に資するのみならず、現代社会の様々な問題に対処する力を身につける一助となることを期待する。
- 主 催： 兵庫県高等学校教育研究会英語部会 兵庫県高校生英語ディベートコンテスト委員会
- 後 援： 兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、神戸市外国語大学
- 協 賛： GTEC for STUDENTS（株式会社ベネッセ・コーポレーション）
OUP（オックスフォード大学出版局）
- 日 時： 平成31年2月10日（日）8:30～16:50
- 会 場： 神戸市外国語大学（神戸市西区学園東町9-1）
- チーム構成： 1校1チームとし、試合出場者は1チーム3～4名とする。各チーム補欠を含め登録は6名までとする。第12回大会は19校にて実施する。
- 対戦方法 (1)「くじ」により4ブロックに分かれ、予選を行なう。
(2)各ブロックの上位2チーム計8チームが決勝トーナメントへ進む。
(3)予選は肯定側・否定側を各1対戦行い、決勝トーナメントでは「くじ」により肯定側・否定側を決定する。
- 論 題 Japan should legalize voluntary active euthanasia.
「日本国は、本人の意思による積極的安楽死を合法化すべきである。是か非か。」

（当日の様子）

